興むらご 压(67)1113 復興推進課 VOL.16

立野地域防災セミナーが開催されました

の防災対策について学びました。 され、約100名が参加し、ハード・ソフト両面 涯学習センターで 「立野地域防災セミナー」 が開催 防災の日である平成30年9月1日に、 大津町生

第2部の熊本県の有浦隆危機管理防災企画監によ 状況や砂防工事の種別・機能について講演があり、 土砂災害の特徴と砂防」では、 第1部の全国治水砂防協会の渡正昭理事による 近年の土砂災害の

当日は、

準備すべき事項 る傾向があるこ 間に雨量が増え 熊本県内では 難により被害を で早めの自主避 までの豪雨災害 は?」では、これ 人や地域として る 「防災とは?個 例 や、 夜

免 れ

た 事

旧山古志村の復興事例について話す佐々木康彦さん

いました。

ること等を話されました。 と、それを踏まえ積極的な予防的避難が大切であ

けた取り組みや事例の紹介があり、住民の「復興感 中越地震で被害を受けた旧山古志村での復興に向 を高めていくことが重要との話がありました。 復興推進課の佐々木康彦復興アドバイザーより また、 第3部では、事例報告として西原村震災

南阿蘇村に映画がやってきました

け隊、 熊本地震により被災した南阿蘇村に笑顔と元気を 議室で、映画「怪盗グルーのミニオン大脱走」「ペコ 合連合会の主催で行われました。 届けることを目的として、日本生協連・笑顔とど ロスの母に会いに行く」が上映されました。これは 平成30年8月25日及び26日に南阿蘇村役場の会 生活協同組合くまもと、熊本県生活協同組



役場前には、たこ焼きやかき氷などの出店が並び賑

わっていました。		
対象	世帯数要件	上限額
①仮設団地の入居 世帯で構成され た自治会	5~50世帯	100,000円
	51~100世帯	150,000円
	101世帯以上	200,000円
②仮設団地・みなし 仮設の入居世帯 が参加する既存 の自治会	5~50世帯	50,000円
	51~100世帯	75,000円
	101世帯以上	100,000円
③みなし仮設の入居 世帯に対し住民 リーダーなどが呼 びかけて集まった 任意グループ	5~9世帯	25,000円
	10世帯以上	50,000円

|仮設住宅入居者交流活動等の費用を 助成

いては、次のとおりです。 を行います。対象となる世帯数や上限額などに 治会などを通じて交流する際の経費について助成 仮設団地やみなし仮設住宅の入居者どうしが自

対象経費

- 勉強会講師の旅費や謝金
- イベントに使う資機材のレンタル費用
- お茶会やサロン活動の茶菓子購入費

- 世話役の人件費、酒やたばこの嗜好品
- など

など